

江里山地区で棚田ボランティア(令和元年度2回目)

西日本総合コンサルタント株式会社

当社は、令和元年10月19日(土)、佐賀県遺産の「小城市・江里山の棚田」において、棚田ボランティアで耕作放棄された圃場、畦畔等の草刈り作業を実施しました。

当社は、昭和46年創業の総合建設コンサルタントの会社であり、県農山漁村課の呼びかけで、平成29年3月に江里山地区と「棚田ボランティアに関する協定書」を締結し、平成29～31年度(3カ年間)、年2回(6月、9月)の計6回の棚田ボランティア草刈り作業を計画しています。

当社は、社員数48名を4つに分けて、今回、大串正専務取締役はじめ14名が参加して今年・第2回目の作業を実施しました。

江里山地区は、棚田畦畔・法面に咲く赤い彼岸花が有名であり、毎年9月23日に開催されるイベント「ひがん花まつり」の前のボランティア活動としていますが、今年は、台風15号の来襲のためイベントが中止され、棚田ボランティアを延期し、今回の実施となった。



(江里山地区の皆さんとボランティア参加者との集合写真)

当日は、昨日までの雨で作業が心配されたが、天気が回復しボランティア日和であった。地区の役員の指示で、2班に分かれて、既に耕作が行われていない棚田、5箇所、

約25枚程度の田圃等を草刈り機によつての草刈り作業や鎌によるイノシシ防護柵のカズラ切りを行ないました。



作業前の挨拶

(右：江里山地区・江里口会長、左：西日本総合コンサルタント(株)大串専務)

昼食は、江里山地区公民館で美味しく頂き、昼食後、地元の方と社員との交流会を設け、棚田の魅力や棚田の維持管理、少子高齢化問題が出され、社員一人ひとりからボランティアで感じたことを話してもらい、若い社員から、また参加したいなどの意見が出された。今回が、契約の3か年の最後のボランティア作業であり、江里口会長から当社および参加した皆さんに対し、温かいお礼の挨拶がありました。





イノシシ防護柵のカズラ切り



耕作放棄地の草刈り状況



昼食（江里山公民館） 江里口会長から当社に対し、ボランティア活動の御礼挨拶



昼食後の意見交換交流会（↑）



← 3年間の江里山・棚田ボランティア活動の締めと、江里山地区の発展を祈念して一本締め
（音頭：当社の内野常務取締役）